

パラグアイ海外邦人安全対策情報

(平成31年1月～3月)

1 安全に関する情報

外務省海外安全ホームページで、パラグアイ国内の以下の地域に危険情報が発出されていますので、ご注意ください。

●コンセプション県ウブ・ジャウ市と隣接するアマンバイ県内の県境付近、コンセプション県の一部、サン・ペドロ県の一部、アマンバイ県カピタン・バド市、アルト・パラナ県プレシデンテ・フランコ市

:「レベル2:不要不急の渡航は止めてください。」(継続)

●アスンシオン市及び周辺、アマンバイ県ベジャ・ビスタ・ノルテ市、ペドロ・ファン・カバジェロ市、カニンデジュ県サルト・デル・グアイラ市、アルト・パラナ県シウダ・デル・エステ市、イタプア県エンカルナシオン市

:「レベル1:十分注意してください。」(継続)

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1)全般

パラグアイ国内では、オートバイを利用した拳銃使用の強盗事件、市街地での置き引き、車上荒らし等が発生しています。カメラや目立つ貴金属等を露出しない、不用意に貴重品を持ち歩かない、屋外で不急の携帯電話の使用は控える、カバンは身体から離さない等、強盗・盗難の被害に遭わないように心掛けてください。また、銀行や金融機関に出入りする客を狙った強盗も多く発生しています。周囲の状況を常に確認するようにし、警戒の意識を保ちながら行動するようにしてください。

(2)主な事件概要

- ・ 1月4日、サン・ペドロ県サン・エスタニスラオ市で、ATM を操作していた女性が、男から散弾銃による発砲を受け所持品を盗まれた。
- ・ 1月11日午後2時ころ、セントラル県サン・アントニオ市のスーパーマーケット内にある銀行窓口が4人組の武装犯に襲撃され、現金約1億5,000万グアラニー(約25,000米ドル)が強奪された。
- ・ 2月3日深夜、アスンシオン市タクンプ地区の路上で、プロサッカーチームの熱狂的サポーター間の衝突が発生し、市内バスなどを襲撃したとして約22名が逮捕された。
- ・ 3月19日、アルト・パラナ県国道7号線37キロメートル地点(イグアス市付近)の道路脇で、土に埋められたトランクの中から、切断された遺体が発見された。検察庁は遺体の確認を急いでいる。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

- ・ 1月22日午前9時30分、アマンバイ県カピタン・バド市マリスカル・ロペス地区で、牧場関係者の男性2名が武装犯に連れ去られ、身代金として70,000米ドルを要求される事件が発生した。

4 日本企業の安全に関わる諸問題

特に無し。